

gifunet

東京岐阜県人会・会報誌ギフネット

最も堅牢な城。

ある朝ふと、「城が現れた」と驚く。
神の仕業か、トリックか。
夢幻のごとく現れ消えた墨俣城。
一夜の奇跡には、百夜の備えと覚悟がある。

2026

SPRING & SUMMER

vol.84

大垣市：墨俣一夜城

photo by:Gouma Midorikaze

ポケットに
いつも銀行を。
じゃうろくアプリ

New!

45万

ユーザー突破!!

(2026年1月13日時点)

べんりッス!

じゃうろくアプリ



じゃうろくアプリを
ダウンロード!

人と、地域と、未来をむすぶ



十六銀行

法人会員様限定の特別プランが始まりました!

東京岐阜県人会は、「ふるさと岐阜」と東京をつなぐ「架け橋」となることを目指しております。その一環として、法人会員の皆様が県人会をより快適な交流チャネルとして活用して頂くための特別プランをご用意しました。更なるご発展の一助になれば幸いです。

1. バナー広告プラン

当会のホームページ上にバナー広告を掲載するプランです。当会のホームページ上にバナー(法人会員様のロゴマーク等)を貼り付け、バナーをクリックした閲覧者がバナーにリンクされた法人会員様のホームページを閲覧できるようにすることにより、当会のホームページにアクセスした閲覧者が法人会員様の企業情報にアクセスする機会が格段に増えます。当会のホームページへのアクセス数は年間約6万弱(累計)ですので、一定の広告効果を期待することが出来ます。バナー広告の料金は3万円/年です。

2. 協賛金プラン

法人会員様が当会の活動に賛同いただき協賛金を頂ける場合は、法人会員様の名称を当会のホームページに表示するというプランです。協賛金は、当会の活動資金として使用させていただきます。その結果もご報告します。法人会員様の名称が当会の協賛者として公表されることは、法人会員様のESG戦略やSDGs戦略の一環として位置づけることもできます。協賛金は、1口1万円/年から何口でも可能です。

3. 企業広告プラン

当会の定期刊行誌である「ギフトネット」に法人会員様の企業広告を掲載するプランです。「ギフトネット」は、年2回当会の全会員(400名超)に配布されますので、多くの岐阜県関係者に法人会員様の企業情報やイベント情報等を伝える絶好の機会となります。掲載料は、字数やスペースによっても異なりますが、A4版の1/2ページで5万円/回になります。

【お申込先】東京岐阜県人会 副会長 杉野由和

電話: 080-4297-6481

E-mail: y_sugino@noandt.com

Index

ごあいさつ	3
令和7年度 総会・懇親会	4
岐阜の力が試される時代に—岐阜スウーpsが描く未来—	7
秀吉に仕えた岐阜市出身の武将たち	8
祈りと時が重なる道—谷汲山参道商店街を歩く—	10
私の人生の「東京編」	11

応援インタビュー 100年の歴史の三起屋	12
冬季五輪 岐阜県出身の選手が大活躍!!	12
下呂 Art Discovery 2026/飛騨市出身の陶芸家 日展で特選受賞	14
岐阜県政の今	15
活動報告	16
同窓会に行こう!!	17

未来を切り拓く力強い岐阜県へ



岐阜県知事

江崎 禎英

東京岐阜県人会の皆様には、日頃より岐阜県政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、先日総会では講演の機会を

頂戴し、重ねて感謝申し上げます。

その折にもお話ししたとおり、知事就任以降、「安心とワクワク」にあふれ、「人やモノが集まる岐阜県」を目指し、日本社会が直面する様々な課題にいち早く取り組む挑戦の姿勢で、「政策オリンピック」や「働いてもいい方改革」、「ぎふモーニングプロジェクト」など、新しい政策をスピード感を持って進めてまいりました。

令和8年度は、この流れを更に深化させ、「未来を切り拓く力強い岐阜県」の実現に向けて、県民の皆様への「安心」を確保しつつ、本県の未来に夢と誇りを持てる「ワクワク」を創出する取組を着実に進めてまいります。

まず、「安心」を確保するための取組としては、質上げ環境を整備する企業を支援するなど「物価高騰に負けない力強い社会」に向けて全力で対応してまいります。また、「誰もが安心して健やかに生き、学ぶ力を育む」ため、学年の異なる子ども同士が同じ教室で学び合う異学年集団による教育活動などを推進するとともに、「環境課題への対応と防災力向上で命と暮らしを守る」ため、クマをはじめとした鳥獣被害防止対策や災害に強い地域づくりにも進めてまいります。

そして、「ワクワク」に係る取組としては、「地域の潜在力を生かし産業競争力を高める」ため、働いてもらい方改革の更なる浸透を図るとともに、「食やエネルギーの自給を通じて力強い地域を創る」ため、楽しみながら気軽に農業を体験できる場を設け、農業への参入を促進する「アグリパーク構想」などに取り組んでまいります。さらに、アウトドア資源を活用した滞在型観光を推進するなど、「世界に誇れる魅力あるまちづくり」を強力に推進してまいります。

県政は引き続き厳しい状況にありますが、知恵と工夫を最大限に生かして早期の財政健全化を実現しつつ、県民サービスの充実・向上を目指してまいります。

今後も様々な政策課題に果敢に取り組んでまいりますので、貴会の皆様におかれましても、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴会の益々のご発展と、皆様の一層のご活躍、ご健勝を心より祈念いたします。

共創・交流の場を目指して



東京岐阜県人会会長

林 信秀

賜り、心より御礼申し上げます。

この会報誌ギフネット84号が発行される頃には、東京の桜も例年通り美しく咲き誇っていると思いますが、私達の心の奥にあるのは、やはり故郷・岐阜の風景ではないでしょうか。長良川の清流にきらめく陽光、根尾谷の淡墨桜、そして山々に芽吹く柔らかな新緑。遠く離れた東京に暮らす私たちにとつても、岐阜の自然や文化、そして人の温もりは、心の支えであり続けています。

さて昨年度の県人会活動としては、岐阜県知事・江崎禎英氏を7月の講演会に、また11月の総会ではご来賓としてお迎えし、直接その施政方針や県政への想いを伺う貴重な機会を得ました。知事の「安心とワクワクにあふれる岐阜県」というビジョンと、現場主義に根ざした挑戦的な政策の数々に、会員一同深い共感と刺激を受けたことは記憶に新しいところです。総会後の懇親会では各市町村からご寄贈頂いた岐阜の名産品や特別提供した飛騨牛に会員の皆様の懇親が大いに深まりました。

さらに9月には、共創・交流の一環として、岐阜の出身や縁のある企業経営者の皆様と知事を囲む会を開催いたしました。産業界と行政が垣根を越えて語り合い、ふるさとの未来を共に描く場となり、今後の連携の可能性を感じさせる有意義なひとときとなりました。

こうした活動を通じて、岐阜にゆかりある企業や個人とのつながりが広がり、法人・個人会員ともに増加の兆しを見せております。特に今年度は、若い世代の方々にも新たにご入会いただき、未来へつながる県人会を目指していきたいと考えています。

この流れをさらに広げていくためにも、皆様のご親族、ご友人、ご知人の中に岐阜にご縁のある方がおられましたら、ぜひ本会へのご入会をお勧めいただければ幸いです。世代を超えて郷土の魅力を共有し、東京の地においても岐阜の風を感じられるような活動を、これからも共に育んでまいりましょう。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

令和7年度 東京岐阜県人会

総会・懇親会が開催されました



令和七年十一月二十五日（火）午後六時から、昨年度と同様、港区赤坂の明治記念館において令和七年度東京岐阜県人会総会及び懇親会が開催されました。

総会における会長挨拶

昨年の九月に会長に就任して以来、関係者と当会の発展につき議論をし、会員間の親睦という元々の目的を維持しつつ、共創・交流の場として岐阜県の発展に貢献することで当会の存在意義を高めようと考えました。ひとつの例として昨年七月には知事の講演会や岐阜出身の方との懇談会を開催しました。また、本趣旨にご賛同いただける法人会員も漸次増加しています。

このような活動を活性化するために、今回の総会では、規約の改正と会費の改定を上程いたしましたので趣旨をご理解いただきご審議・ご賛同いただければ幸いです。

総会議事

林会長が議長となり八木幹事長より次のとおり議案説明があり、慎重なる審議の結果、全議案が満場一致で原案通り承認可決されました。

第一号議案…令和6年度事業実績及び

令和7年度事業計画

第二号議案…令和6年度収支決算及び

令和7年度収支予算

総予算約八百万円、令和七年度の次期繰越金は約一八〇万円と前期比約八〇万円の減少見込みです。

第三号議案…東京岐阜県人会規約の

改正について

会員相互の親睦と交流を深めるとともに、ふるさと岐阜の魅力を広く発信し、岐阜の発展に寄与することを明確にしました。

第四号議案…会費の改定について

昨今の通信費、印刷費等諸物価の高騰及び県人会財政のひっ迫を鑑み、改定をお願いしました。

具体的な改定後の会費（年額）は、
一般会員…三千円、理事…二万三千円（総会参加費一万円、役員拠出金一万円を含む）、監事・評議員・幹事…一万三千円（総会参加費一万円を含む）、
といずれも千円の増額とさせていただきます。

また、法人会員は、二万円増額の五万円（総会参加費三万円（三名分）を含む）とさせていただきます。

第五号議案…役員の選任

今年度は、二十二名の役員の方を再任いたしました。内訳は、理事十八名、評議

員四名です。引き続き当県人会の運営や会員増強にご協力をいただきたくお願いいたします。

知事講演

今回は特別企画として、江崎知事に「岐阜の未来」を語っていただきました。骨子は、「人口減少」、「労働力の不足」、「教育の行き詰まり」、「資源のない国」、「医療財政のひっ迫」そして「自然災害大国」等々、巷間当たり前とされていることを見直し、「岐阜県の未来」そして「あるべき日本の形」を創るというものでした。内容は、昨年七月十二日に当会が開催した「夏の講演会」の内容を踏襲発展させるものでした。詳しくは、当会会報誌ギフネットの八十三号（二〇二五年秋冬）をご覧ください。今回は、三〇分という短い時間ながら、従業員が最も働きやすい時間帯や労働条件を選んで働ける環境を実現する「働いてもらい方改革」、喫茶店文化を基盤とした「ぎふモーニングプロジェクト」が軌道に乗って



きたこと、県庁所在地岐阜市を核とした岐阜圏域を、「LRT（次世代型路面電車）」の導入で活性化させるプロジェクトがより具体化したことが追加報告されました。

懇親会

午後七時から懇親会に移りました。林会長からは、お集まりいただいた県選出の国会議員、各市町村長の方々（代理を含む総勢二十三名）への御礼が述べられ、知事講演で話された各施策、とりわけ岐阜市を中心とした岐阜圏域の活性化に期待し、ふるさと納税等を通じて応援しよ

うとのお話がありました。更に、来場された会員の皆様に喜んでいただけるよう（県人会財政が厳しい中）、飛騨牛のステーキとローストビーフを提供させていただいたとのお話がありました。

続いて、江崎知事から来賓のご挨拶として、「岐阜出身者の中には「岐阜には何もない」という人もいるが、実は岐阜には豊かな自然、文化、産業そしてワクワクする未来がある。そのことを会員の一人ひとりからもっと発信して欲しい」とのお話がありました。

その後、高殿県議会副議長のご挨拶で懇親会が始まり、歓談会食タイムには、話好きな岐阜県人の声会場内に響き渡り、終始熱気にあふれた会となりました。

今回も会場には、特別に岐阜県産の食材を使った次の料理や地元のお酒を各市町村から沢山提供していただき、例年に負けない郷土色豊かな宴となりました。

①坂祝町の「ミニトマト」・「ソーセージ」・「チリソース」

②安八町のはつしも米の縁結び

③中津川市の「栗きんとん」

④東京岐阜県人会提供「飛騨牛」

今年のロビーは例年以上に賑やかでした。笠松競馬出身の名馬「オグリキャップ」をモチーフとしたアニメ「ウマ娘シンデレラグレイ」の豪華ディスプレイが展示され、例年とは違う雰囲気を出していました。ふるさと納税関連では、県及び県内市町村が取り組む「地方創生プロジェクト

ト』の周知コーナーがあり、それぞれの
実情に合わせた「まち・ひと・しごと創
生プロジェクト」を企画推進している
こと。「企業版ふるさと納税」で自
らの出身市町村のみならず、魅力的な
プロジェクトを進めている自治体を応援
したいの気持ちで湧きあがりました。

物販ブースでは岐阜トキーヨーによる
県産品の販売が行われ総会懇親会の合
間に賑わっていました。

午後八時三〇分には、羅本副会長の中
締めのあいさつとともに、余韻を残し
ながら約百六十五人の会員の皆様にお
集まりいただいた懇親会はお開きと
なりました。



各市町村等から次のような多くの
惠送品をいただきました。会場内でま
たはお土産として使わせていただき
ました。心より御礼申し上げます。

大垣市「地酒」、高山市「地酒」、多
治見市「地酒」、関市「柚子のジュ
ース」、中津川市「栗きんとん」、
土岐市「ナッツ類」、羊羹、地酒、
可児市「地酒、クッキー」、山
県市「お米」、郡上市「ハム」、
垂井町「お菓子」、神戸町「お茶
とお菓子のセット」、輪之内町
「お米」、安八町「お米」、掛
斐川町「地酒」、大野町「富有
柿」、池田町「トマトジュース、
お菓子、お茶」、坂祝町「トマ
トジュース、ソーセージ、入浴

令和8年度 夏の講演会 ※詳細は改めてご案内いたします。

日本経済新聞のコラム「がん社会を診る」の連載でも有名な
中川恵一先生が現代のがん社会をやさしく解説。

講 師：中川恵一 東京大学特任教授 会 場：法曹会館

日 時：令和8年8月22日(土) 【講演会】14時～15時 【懇親会】15時～16時

令和8年度 総会・懇親会のお知らせ ※開催通知は、改めてご案内いたします。

日 時：令和8年11月18日(水) 予定 【総会】18時 【懇親会】18時30分～

会 場：明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23 TEL：03-3403-1171

参加費：会員、非会員問わず、お一人様10,000円、ただし学生は無料

剤、富加町「地酒」、川辺町「みりん、地
酒」、白川町「お茶」、白川村「地酒」な
どのご惠送品を各市町村からいただきました。
(文責：伊藤健介)

岐阜の力が試される時代に——岐阜スウーパスが描く未来



岐阜スウーパス
公式サイト



東京でご活躍の岐阜県出身の皆さまへ。岐阜スウーパスを運営する岐阜バスケットボール株式会社代表取締役社長の那須史明です。

岐阜スウーパスは、社会人クラブとして2002年に岐阜で結成され、2018年までに日本一を5回達成した強豪クラブとして、B.LEAGUE 3部（B3リーグ）に参入しました。参入以来シーズンを重ね、ホームゲーム平均来場者数は1800人近くまで成長。昨季は18チーム中5位の成績を収め、クラブ史上初のプレーオフ進出を果たしました。

そして今、岐阜の力が試されようとしています。B.LEAGUEは来シーズン（2026-27）から新体制となり、勝敗による昇降格を廃止。クラブの売上、平均来場者数、アリーナ規模という3条件を満たせるかで所属リーグが決まります。岐阜スウーパスは皆さまのご支援のおかげで、2部にあたる「B.LEAGUE ONE」へ

の参入が決定しました。ただこの制度は、競技成績だけでなく「地域の総合力」がクラブの未来を定める、という明確なメッセージでもあります。

売上は企業・経営者の皆さま（スポンサー）の支援が形になり、来場者数は地元岐阜はもちろん、県外で岐阜を想う皆さまの応援が数字として表れます。アリーナは、自治体や地域とともに「このクラブが必要か」を問われる領域です。私たちは勝利で岐阜の名を全国に響かせながら、選手たちを通じて岐阜の魅力を「リブランディング」し、県内外の岐阜への愛着度を引き上げていきたい。これが、クラブと地域が共に積み上げる物語であり、岐阜の未来を創る力になると信じています。

東京からの応援や発信は、岐阜の現場にとって確かな追い風です。観戦、口コミ、企業間のご紹介——その一つひとつが、興行の質の向上や地域への還元として返っていきます。帰省や出張の折には、ぜひ会場で「岐阜の熱」を体

感してください。

また、岐阜の価値向上を共に進める企業・経営者の皆さまとのパートナーシップも、ご関心に応じて無理のない形から広げてまいります。岐阜を想う皆さまと、次の一歩を一緒にできれば幸いです。岐阜スウーパスをよろしく願い致します。



岐阜バスケットボール株式会社 代表取締役社長

那須 史明（なす ふみあき）

1977年9月24日生（48歳）

岐阜県美濃市出身

名古屋経済大学 卒業

イツ・コミュニケーションズ株式会社 入社

2009年4月 シーシーエヌ株式会社 入社

2019年8月 岐阜バスケットボール株式会社へ出向
シーシーエヌ株式会社 退社

2019年9月 岐阜バスケットボール株式会社 社長就任

秀吉に仕えた岐阜市出身の武将たち

はじめに

大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放映がはじまりました。岐阜城や岐阜の町がどう描かれるのか楽しみです。岐阜城主織田信長や斎藤道三のことは良く知られていますが、岐阜市ゆかりの武将にはどんな人がいたのでしょうか。ここでは、岐阜市で生まれ、豊臣秀吉に仕えた武将たちや彼らの子孫の居城・陣屋所在地について御紹介します。

秀吉に仕えた武将たち

岐阜市出身で秀吉に仕えた武将は、推定の部分もありますが、9人（6家）おります。一柳直末・直盛兄弟（一柳家、岐阜市西野町出身）、加藤光泰・貞泰親子（加藤家、岐阜市端詰町出身）、堀秀政（堀家、岐阜市西部出身）、堀（奥田）直政（奥田系堀家、岐阜市西部出身）、谷衛好（谷家、岐阜市鶉出身）、石川光政・光重兄弟（石河家、岐阜市鏡島出身）です。一柳家と加藤家、堀家と奥田系堀家は親戚でした（図1・2）。谷衛好は信長家臣ですが、与力として秀吉に付属させられました。彼らは軍人としてあるいは官僚として秀吉を支え、全国各地で活躍しました。例えば1571年の近江国（滋賀県）

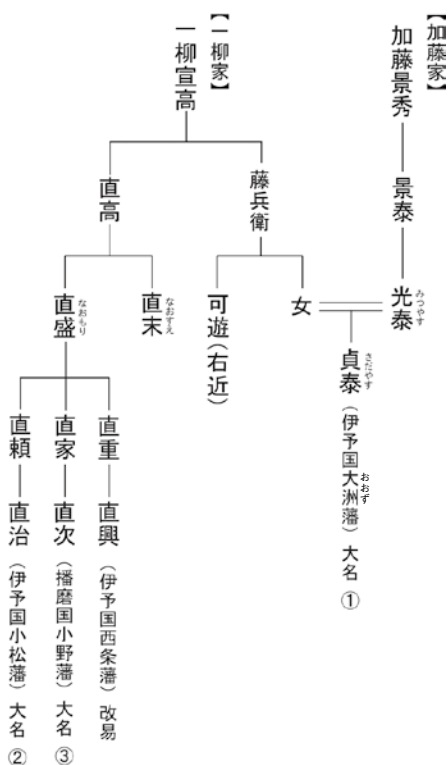


図1 加藤家・一柳家系図

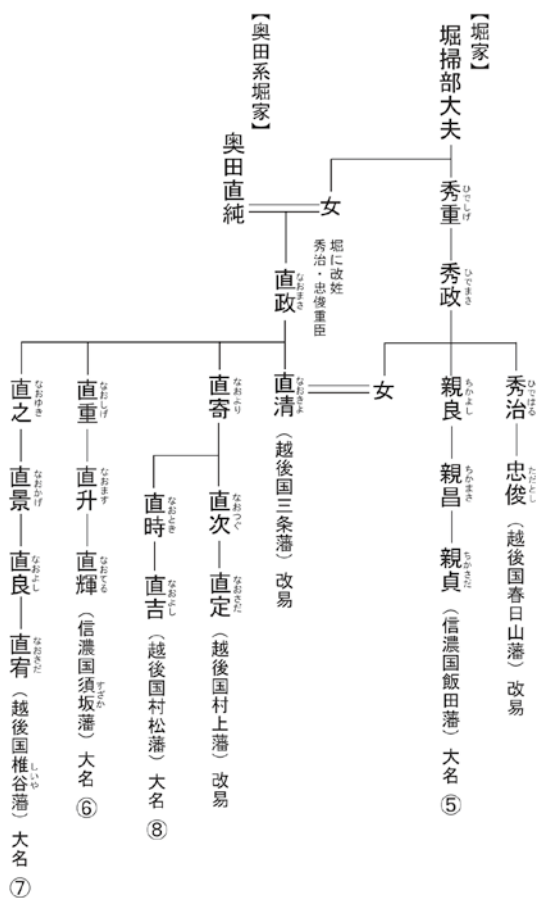


図2 堀家・奥田家系図 ※谷家系図は省略

横山城の戦いで、加藤光泰は城将秀吉の留守中に越前国（福井県）の朝倉軍と死闘を繰り広げ城を守り大怪我を負います。1583年の賤ヶ岳の戦いで堀直政は敵将柴田勝家の馬印を奪い取るという手柄をあげます。1584年の小牧・長久手の戦いでは4月9日の秀吉軍大敗を受けた混乱期に秀吉が一柳直末を頼りにしている書状が残されています。ちなみに加藤光泰は1585年〜1589 or 1590年に与力として大和国（奈良県）郡山城主の豊臣秀長（大河ドラマ主人公）に付属させられています。



堀秀政生誕地石碑（岐阜市西部本郷）

四天王伝承

秀吉に仕えた岐阜市出身武将は岐阜市南部の厚見郡出身者ばかりです。これは何か意味があるのでしょうか。播磨国（兵庫県）小野藩3代藩主一柳末礼が書いた由緒書『御家御先祖書写』（以下『先祖』）には、1685年に岐阜で

聞いた話として「一柳直末の父親は濃州岐阜の町裏西野という所に住む一柳又右衛門直高という百姓である」「外から敵が攻めてきた時は軍役を勤める」と書かれており、直高は土豪クラスの在地領主だったことがわかります。『先祖』ではさらに続けて、当時美濃国内に横行していた盗賊対策のために「堀、

谷、加藤、一柳」の「四

天王」が目明組頭に命じられたと書かれています。つまり、秀吉に仕えた武将たちの父親世代は「四天王」と呼ばれる土豪衆のリーダーでした。土豪衆は主に厚見郡から招集されたのでしょう。江戸時代に書かれた系図や伝記が自分たちの先祖について高い身分の者とする中で『先祖』の記載は異彩を放ち、かつて信憑性があるように思えます。

近世大名8家

秀吉に仕えた岐阜市出身の武将たちはその後どうなったのでしょうか。相次ぐ合戦の中で戦死したり戦時中に病気で亡くなった者もいますが、1600年の関ヶ原の



図3 近世大名8家の居城・陣屋所在地



堀氏陣屋跡（長野県須坂市）

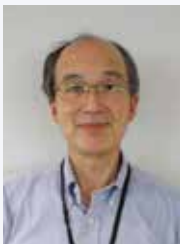


山家陣屋跡（京都府綾部市）

戦いや1614〜15年の大坂の陣を経て、彼ら自身や兄弟・子供の中には近世大名（1万石以上の所領を持つ領主）家の礎を築いた者が多くあります。途中で改易された家もありますが、一柳・加藤・堀・奥田系堀・谷の5家から分かれた8

おわりに

以上、秀吉に仕えた岐阜市出身の武将たちとその子孫の居城・陣屋所在地を見てきました。彼らの活躍があった秀吉の天下統一は実現しました。そして子孫は岐阜文化を携え全国に広がりました。機会があればこうした土地を訪れ、岐阜市との縁を感じつつ散策されてみてはいかがでしょうか。



岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課
特任研究員

内堀 信雄（うちぼり のぶお）

昭和34年 栃木県宇都宮市に生まれる

昭和61年 名古屋大学大学院文学研究科
（考古学）卒業

岐阜市教育委員会にて
信長公居館跡発掘調査などを担当

主な著書

『東海の名城を歩く 岐阜編』（共編、吉川弘文館、令和元年）

『戦国美濃の城と都市』（高志書院、令和3年）



祈りと時が重なる道 — 谷汲山参道商店街を歩く

歩くことで見えてくる、谷汲の参道

谷汲山華厳寺へと向かう参道を歩いていると、目的地へ急ぐというよりも、自然と足取りがゆるやかになる。仁王門まで続く道の両脇には、店々が並び、巡礼者や参拝客を静かに迎えてくれています。ここは単にお寺へ向かう為の道ではなく、人が集い、立ち止まり、また歩き出す時間を受け止めてきた場所でもあるのです。春・夏・秋・冬と、四季折々の風景に彩られながら、祈りと暮らし、もてなしと営みが重なり合ってきたこの参道には、今もなお語られるべき物語が息づいているのです。

立ち止まる場所に、物語は生まれる

仁王門へと続く参道は、谷汲山華厳寺へ向かう参道であると同時に、生活の場であり、交流の場でもありました。巡礼の途中で歩みを緩める人、参拝を終えて余韻を確かめるように歩く人。その流れを受け止めるように、参道のお店は並んでいます。ここでは、通り過ぎることよりも、立ち止まることが自然に許されています。参道とは、目的地へ向かう道路ではなく、時間を含んだもてなしの道なのだと、歩いていると気づかされるのです。

もてなしの心が支えてきた時間

参道には、巡礼に用いられる品々や、美術品のように存在感のあるお店や、香ばしく美味しそうな匂いを

漂わせるお食事処。歩き疲れた身体に嬉しい甘味処を扱うものと、佇まいも異なるお店がたくさん並んでいます。参道を歩く理由は人それぞれですが、迎え入れる側の思いは、そこには長く培われてきたもてなしの心があるのです。参道の食の記憶をたどれば、意外に知られていない素敵ストーリーにも行き当たります。全国で知られる「ロバのパン」の創業者は、かつてこの谷汲で修行を重ね、その後、京都に出て店を構えたと伝えられています。ここで培われた技術や人との向き合い方が素朴な味わいとして、様々に形を変えながら各地へと広がっていききました。参道に今も残る、立ち寄る人を氣遣う空気には、そうした時代の記憶がさりげなく重なっているようにも感じられます。

重ねられる営み、動き出す今

近年、この参道を含む谷汲の地域では、地元の若者たちが中心となり、新たな取り組みも始まっています。参道を中心に開催されるクラシックカーのミーティングや春秋の地域観光にかかわる祭りへの地元中学や高校生の参加など、谷汲の風景や時間の流れと調和する催しを通じて、地域の魅力を見つめ直すとする動きです。それは過去を塗り替えるものではなく、これまで積み重ねられてきた歴史や文化の上に、現在を重ねていく試みともいえるでしょう。

また、地域の高校生たちが授業の一環として、参道商店街の活性化を

テーマに、店主から話を聞き、参道を歩き、「自分たちなりの視点で地域と考える授業」にも取り組んでいます。その取り組みは、何かを大きく変えられるものではありませんが、参道を次の世代の言葉で捉え、人材を育てる大切な時間となっています。

日本遺産が照らす、参道という時間

谷汲山華厳寺を満願とする西国三十三所観音巡礼は、日本遺産に認定されています。その価値は、建造物や景観だけでなく、人々が祈りを抱いて歩き、支え合ってきた時間の積み重ねにあります。仁王門へと続く参道も、その物語の一部なのです。日本遺産という視点は、古き文化や歴史を守り伝えるものだけではなく、これからの新しい文化の創造と発信を担う取り組みなのかもしれません。

何度も歩きたくなる道

谷汲山華厳寺への参道は、何かを強く主張する場所ではありません。迎え、送り、日常を淡々と積み重ねてきました。谷汲に暮らす人にとっても、この道は懐かしくも変わらぬ風景であるでしょう。初めて訪れる人は、何か心の安らぐ特別な場所としての空気感があります。久しぶりに歩けば、昔と同じように歩いて、どこか新しい表情にも出会える。谷汲の参道は、これからの変化を受け止めながら、静かに次の時代へと確実に今も歩み続けているのです。

(文責：特定非営利活動法人わてつ理事長松田勝義)

私の人生の「東京編」

東京都立大学人文社会学部人間社会学科 岐阜県学生会館 4年 古田 華



学生会館の同期

「悔いのない学生生活を」。いろいろな場面でこの言葉を耳にした。未来の私にとっての「悔い」とは何かと考えても明確な答えは出ないが、「なんだかんだ楽しかったし、やりたいうこともできた」と思うと、それは悔いのない学生生活と言えるのかもしれない。

四年前、私は大学入学を機に上京した。東京に強く憧れたわけではなく、学びたいことやタイミングなどが重なり、たまたまこの地に辿り着いたのが始まりだった。十八年間の岐阜で過ごした私にとって、東京での生活は新鮮だった。コンビニが並び、歩いて多くの飲食店に行ける。美術館や演劇、映画にも気軽に触れられた。出かけるには電車を使い、高校生まで毎日のように利用していた自転車は、東京に来てほとんど利用していない。最寄駅にはスターバックスが三店舗も密集していた。何もかもが驚きであった。新しい文化や価値観に出会うたびに学び、自分の中に取り込んでいった。街自体が新しさを日々更新するような東京で、エネルギーに満ちた大学生の時

期を過ごせたことは本当に恵まれていたと思う。送り出してくれた両親には感謝してもしきれない。

私は四年間を岐阜県学生会館で過ごした。同郷でありながらも、歩んできた人生や大学の異なる仲間と朝から夜まで共に過ごした日々は、かけがえのないものである。夕食を一緒に食べたり、イベントを祝ったり、誰かの部屋に集まって語り合ったこともあった。沢山迷惑もかけたと思う。(それでも優しく時に厳しく接してくださった寮監や今までの先輩方には頭が上がらない。)気の置けない友人もできた。旅行やライブへ行ったり、人生相談をしたこともあった。大学生活の中で最も長い時間を共にしたと言っても過言ではない。寮での暮らしは「経験」なんて殊勝なものではなく、「思い出」という言葉の方がしっくりくる。きっとこれから先、ふとこの日々を思い出しては、温かくなったり寂しさを感じたりするのだろうと思う。

春から私は東京で暮らす。少しずつ東京という街のルールを手にいれ、身につけ、馴染んでいった。戸惑うことも多かったが、街に吞まれずどう自分らしく生きるかを考え続けた四年間は、人生の大きな糧になるはずである。知らないことがあまりにも多かったからこそ、大学入学以降は人生の第二章を歩んでいるかのように感じられた。NHKの朝ドラで例えるならば、「岐阜編」から「東京編」へと舞台が大きく変わったようなものである。帰るたびに温かく歓迎してくれる家族も、

中高時代の友人も、そして綺麗で大きな山川も、岐阜には沢山の宝物がある。昨夏、帰省した際に自転車で金華橋を走った。青空の下、大きな長良川とそびえ立つ金華山、そしてその頂上に建つ岐阜城。思わず「きれい」という言葉がこぼれた。心の底から湧き上がった言葉だった。これまで当たり前に見てきた景色は、当たり前すぎた故にその良さに気づけなかった。出て気づくことも沢山あるのだ。東京にいる時は東京が楽しくてしょうがないけれど、帰省すると東京に帰るのが寂しくなる。岐阜にないものが東京にあって、東京にないものが岐阜にある。ないものねだりにすぎない。

いつか岐阜に戻る日が来るかもしれないし、あるいは全く違う場所に生きているかもしれない。それでも私の原点は岐阜にある。人生の土台は岐阜であり、忘れることも離れることもないと思う。胸を張って「岐阜の人間」だと言えるように、人生第二章も、悔いのない歩みを続けていきたい。



これからいろいろな景色を見ていきたいです



小久保 映里 プロフィール

2009 年(株)ジェイアール東海高島屋入社。主に婦人服フロアの営業の他、POP UP や催事運営、オリジナルセーター企画・運営、統括部門にて広告や VMD に携わる。環境負荷算定特化のコンサルティング会社と Web マーケティング会社の 2 社を経て、2025 年 1 月に(株)岐阜ファミリーデパートに入社。本店の店長兼総務部長として勤務。

もっとお客さまと近い距離で
商いがしたい

祖母の葬儀にて久々に叔父と話をした際、「三起屋の厳しい状況を聞き、咄嗟に「私が手伝う!」と言いました。大手百貨店で学んだことを地元に戻元したい。そして、一人ひとりが輝ける場所を作りたい。その思いで、三起屋に参画することを決めました。入社して最初に思ったことは、従業員も商品も魅力的だということでした。仕入れから販売まで全てパートで運営される売場は、いわば「個人商店の集合体」。三起屋は人で成り立つお店だと感じました。効率化を重視する小売業界において、真逆の超属人組織です。個性的な品揃えは、この職人集団の手によるものだと思いました。私はこの属人性にこそ魅力があると確信し、百貨店時代に葛藤した「もっとお客さまと近い距離で商いがしたい」という思いが叶うと感じました。彼女たちを変えるのではなく、その魅力を引き出したい。その思いで、まずは 1 年間。思いついたアイデアは全て形にするつもりで、走り続けました。



理想と現実の
ギャップから見えた確信

しかし、最初はとても孤独でした。総務業務と営業企画、対極の仕事を一人でこなすことに苦戦しました。それでも諦めずに続けていると、「〇〇がやりたいなら、△△さんに会うといいよ」。この繰り返しで、わらしべ長者のように縁が繋がっていききました。店内でお客さまから応援され、SNS でも温かいメッセージが届き、従業員はもろもろのこと、イベント実施者も、みんな三起屋を盛り上げようとしてくれています。この喜びの循環が、「三起屋は、みんなで育てる場所になれる」という確信に変わりました。



2025年5月開催「三起屋でお話会」

TOPIC

岐阜県出身の選手が大活躍!!

ミラノ・コルティナ冬季五輪
(2月6日〜22日)

連日感動を呼んだミラノ・コルティナ冬季五輪で、岐阜県出身選手たちがすばらしい活躍を見せてくれました。

まずスノーボード女子ビッグエアでは村瀬心柊選手が金メダルの快挙(前回の北京大会では銅メダル)。さらにスロープスタイルでは、世界中から注目を浴びる中、銅メダルを獲得し2種目で表彰台に上がりました。

フリースタイルスキー男子モーグルでは、堀島行真選手が銅メダル、またデュアルモーグルでは決勝に進出。途中でバランスを崩し、惜しくも銀メダルに終わりましたが、村瀬選手も堀島選手も、北京大会に続く2大会連続のメダリストになりました。

またメダル獲得には至りませんでしたが、その他の岐阜県出身の選手が活躍をしています。フリースタイルスキーの男子ハーフパイプでは松浦透磨選手が、日本男子初の決勝進出への期待がかかっていましたが、惜しくも13位に終わりました。村瀬選手、堀島選手、松浦選手の3人は岐阜第一高校(本巣市仏生寺)出身で、大会前から地元は大変に盛り上がっていました。

さらに、女子スキークロスでは新井真季子選手が1回戦敗退、女子ハーフパイプでは桐山菜々穂選手が予選19位で敗

人の思い出を作り、 温かさを持ち帰れる場所を目指して

株式会社岐東ファミリーデパート 店長兼総務部長 小久保 映里



1階レスト&イベントスペース

キーワードは繋がり

具体的には、VMD指導、空床地2か所のイベントスペース化とショーウィンドウ化、婦人服のブラッシュアップに取り組みました。新設したスペースでは「つながる」をキーワードに、「つながるほんしつ」「つながる写真展」「つながるLAB」の4つの企画を立ち上げ、高校生の手品ショーや保護猫活動、マルシェ、JAZZライブなど様々なイベントを開催しました。

町に循環を生み出す場所

かつて特別なお出かけスポットだった



三起屋 (株式会社岐東ファミリーデパート)

前身は呉服店。1980年に百貨店業態に転換し、2001年にパローホールディングスの連結子会社となり、現在は衣料品を中心とした自社運営フロアとテナントを組み合わせたショッピングセンターとして、地域に根ざした店舗運営を行っている。

た三起屋も、今は日常に寄り添う社会インフラ的存在です。三起屋が100年の歴史で紡いできたものは単なる衣料品販売ではなく、人の思い出を作るマインドだと思っています。私は、再び、ファッションとカルチャーを発信し、町に循環を生み出す場所にしたいと考えています。その循環は、共に働くこと、共に楽しむこと、ワクワクするお買い物空間を通して生まれると信じています。「三起屋に行く」と、自分も何かできそうな気がする」と感じてもらえるお店にしたいです。地元に関わる一人ひとりが、何かのきっかけと人の温かさを持ち帰れる場所であり続けたいと思っています。

退となりましたが、最後まで力を出し尽くし、清々しい笑顔を見せてくれました。次回フランスアルプス2030大会でも、岐阜県出身選手の活躍が数多く見られると思います！楽しみです!!

村瀬心柊選手(21)

TOKIOインカラミ、岐阜第一高出身

◆スノーボード女子

ビッグエア金メダル

◆スノーボード女子

スロープスタイル銅メダル

堀島行真選手(28)

トヨタ自動車、岐阜第一高出身

◆フリースタイルスキー

男子モーグル銅メダル

◆フリースタイルスキー

男子デュアルモーグル銀メダル

松浦透磨選手(23)

岐阜日野自動車、岐阜第一高出身

◆フリースタイルスキー

男子ハーフパイプ 13位

新井真季子選手(32)

岐阜日野自動車、高山西高出身

◆女子スキークロス 1回戦敗退

桐山菜々穂選手(29)

ヒマラヤ、岐阜女高出身

◆スノーボード

女子ハーフパイプ 予選19位

()内は大会当日の年齢 参考：岐阜新聞記事

(文責：佐藤彰)

下呂 ART DISCOVERY 2026

下呂市内の各所で新たな芸術祭「下呂 Art Discovery 2026」が9月11日から11月8日まで開催される。総合ディレクターはこれまで「大地の芸術祭」など数々のアートプロジェクトを手掛けてきた北川フラム氏。

2024年秋に開催された「南飛驒 Art Discovery」の成功を受けて開催するものだ。

下呂温泉は日本三名泉のひとつ。豊かな自然に恵まれた下呂を舞台に、森や古い町並み、木造校舎の廃校などを活用して、この地方ならではのアート作品を展開する。

テーマは「アート(Art)と発見(Discovery)」。アートと下呂の温泉に浸かりながら、地域と自分自身を再発見する芸術祭を目指す。

メインプロジェクトのひとつは旧湯屋小学校を舞台にしたアートプロジェクト「みんなの学校」。授業、運動会、修学旅行といった誰もが持つ「小学校の記憶」をもとに、作品やワークショップを公募。アーティストだけでなく、「こんな学校があったらいいな」を実現したい個人や市民グループからも応募を募った。

北川総合ディレクターは本プロジェクトについて、「学校は地域の心の灯であり、最後の砦のひとつです。やがて取り壊される旧湯屋小学校を舞台に、みんなの心にある学校を蘇らせ、夢の学校を作るプロジェクトにしたいと思います」と述べた。

現地見学会は昨年12月に開かれ、公募は1月15日に締め切られた。

審査員：北川フラム（下呂 Art Discovery 2026総合ディレクター）

（文責：荒垣さやこ）



飛驒市出身の陶芸家・阪口浩史氏の器が日展で特選受賞

東京・六本木の国立新美術館で昨年11月23日まで開催された第118回日展の工芸美術部門において、飛驒市神岡町出身で多治見市在住の陶芸家・阪口浩史氏（56）の作品が特選に選ばれた。



画像提供：公益社団法人 日展

こうし き とう
紅紫の器「濤」は、高さ37.0cm×幅74.5cm×奥行37.5cm。華やかで趣のある赤みを帯びた紫色が特徴的な作品だ。

（文責：荒垣さやこ）

【阪口浩史氏プロフィール】

1969年 飛驒市神岡町生まれ
1989年 多治見工業高校窯業専攻科卒業。岐阜県産業教育振興会長賞受賞
その後、深山窯・近田精治氏に師事
1993年 日本新工芸展入選（以後7回）
1994年 美濃陶芸展 中日奨励賞受賞（以後3回）
1995年 日展入選（以後11回）
1996年 日本新工芸展 新工芸奨励賞受賞
2001年 阪神百貨店で個展（以後11回）
2002年 小田急百貨店で個展（以後8回）。日本新工芸展入選作品外務省買い上げ
2005年 松坂屋名古屋店で個展（以後3回）
2006年 新工芸東海展 加藤卓男賞受賞
2007年 織部花器「清流」が美濃陶芸永年保存作品に選定
2008年 岐阜加島屋で個展（以後4回）
2009年 美濃陶芸桔梗賞受賞
2010年 美濃陶芸展 美濃陶芸大賞受賞
2012年 美濃陶芸展 美濃陶芸大賞受賞
受賞作品・織部花器「想美濃陶芸展 美濃陶芸大賞受賞。岐阜県現代陶芸美術館に収蔵
2014年 美濃陶芸展 美濃陶芸大賞受賞。受賞作品「爽風」が東濃信用金庫に収蔵
2015年 多治見市表彰（産素の振興に貢献）
2016年 美濃陶磁育成智子賞受賞。ジェイアール名古屋タカシマヤで個展
2023年 日本新工芸展文部科学大臣賞受賞、（公社）美濃陶芸協会創立60周年記念美濃陶芸展美濃陶芸大賞受賞。受賞作品の紅葉の器「実り」がとうしん美濃陶芸美術館に収蔵
今年1月には「日展・名古屋展2026」が愛知県美術館ギャラリーで展示
現在、日展会友・日本新工芸家連盟会員・美濃陶芸協会理事

岐阜県政の今

岐阜圏域のまちづくり

県では、「安心」と「ワクワク」にあふれ、「人やモノが集まる岐阜県」を目指し、様々な施策を組み合わせて取り組んでいます。この中の一つとして進める「岐阜圏域のまちづくり」については、目指すまちづくりの5本柱とそれに基づくまちづくりの方向性をとりまとめ、取組を進めています。

岐阜圏域が 目指す まちづくりの 5本柱

- (1) こどもやお年寄り、すべての人が輝くまち
- (2) クリーンで 環境に優しい洗練されたまち
- (3) 巡って楽しい便利で快適なまち
- (4) 人やモノを呼び込む魅力豊かなまち
- (5) 災害に強く安全で安心なまち

岐阜圏域には、歴史的・文化的拠点、人が集まる拠点、教育・医療の拠点、交通拠点が数多くあります。これらを線でつなぎ、周遊性を持たせ、圏域全体に賑いを広げる取組が求められており、そのための手段の一つとして、LRTを有力候補とした新たな交通システムの導入について検討を進めています。3月には沿線自治体や地域の公共交通事業者、警察、学識経験者で構成する検討会を設置し、議論を始めました。まちづくりにおいて交通システムが果たす役割について、皆様に様々な機会でご説明し、ご意見を伺いながら丁寧に進めていきます。



詳細は公式WEBサイトをご覧ください→



ぎふモーニングプロジェクト

人生100年時代に向けて、意識することなく健康を維持向上できる環境が求められています。県では、「ねんりんピック岐阜2025」を契機に、岐阜県が全国に誇る喫茶店の「モーニング文化」を生かし、介護やフレイルの予防につなげる取組「ぎふモーニングプロジェクト」を実施しています。



『ぎふモーニングプロジェクト』健康管理モニター事業実施中！

1月から、県内の喫茶店に通う方の健康やフレイル状態の把握と、フレイル予防の拠点としての活用を検討することを目的とした、健康管理モニター事業を開始しました。県内の喫茶店約40店舗、モニター約800名の方々にご協力いただき、3月までに各店舗で実施するキックオフイベントへの参加をスタートに約1年間、体重や毎日の食事など健康に関するデータを収集し、喫茶店の利用と健康との関連を調べることとしています。



詳細は公式WEBサイトをご覧ください→



政策オリンピック

県では、県民の皆様や各種団体からアイデアを募集し、新たな政策を企画、立案、実施する「政策オリンピック」を実施しています。初回となった今年度は、第一弾「季節に応じた住民参加型訓練」「ニホンザル対策のモデル構築」、第二弾「ふたつのふるさと（海・山の防災交流）事業」のアイデアを募集し、優れたアイデアに対して、県が活動費を補助し、アイデアの実践を支援しました。2年目となる来年度は、次の6つのテーマで政策オリンピックを実施します。

政策オリンピック令和8年度実施テーマ

1 補助事業として実施するもの

事業アイデアの提案団体が自ら提案事業の主体となり、県が事業費を補助することで実施するもの。（令和7年度実施分と同様の方法）

① アグリパーク構想の推進（楽しい農業・儲かる農業）

多様な主体の農業参画に向け、意欲ある設置団体からスタートアップの場づくりに関し、アイデアを募集し、優れた提案に対して事業費を支援



② 空き家の活用促進

空き家の活用促進するアイデアを募集し、優れた提案に対して事業費を補助



③ ふたつのふるさと事業

県外児童生徒が本県を「もうひとつのふるさと」と感じられる宿泊・交流・防災体験を実施する市町を支援〔中津川市、山県市、七宗町で実施予定〕



2 アイデア募集として実施するもの

取組初年度に県民等からアイデアのみを募集し、その結果を踏まえた事業を当該年度の補正予算又は次年度以降の当初予算で実施するもの。

① 消防団員の確保対策

消防団員確保につながる、今後の消防団の在り方などについて、アイデアを募集



② ひきこもり支援

ひきこもり状態にある本人やその家族に対する支援を、効果的かつ自立的、継続的に行うためのアイデアを募集



③ みんなで守る社会インフラ

道路・河川等社会インフラの維持管理費用の低減を目的に、効率的な点検・維持管理方法のアイデアを募集



詳細は公式WEBサイトをご覧ください→



活動報告

DX委員会

協賛広告バナー

最近、協賛頂いている組織の方からのバナー広告の依頼が増えています。

バナー広告とは、ホームページの一部に、協賛頂いている企業や組織の広告やリンクを掲載するものです。東京岐阜県人会のホームページでも、パソコン画面では常に表示される右側に列挙しています。(スマホ画面では、ページの最下部に大きく表示しています。)

このバナー広告では、単純なロゴ掲載だけでなく、次のようなこともできます。

- ◆ イベントに合わせた専用のバナー表示 (掲示期間設定)
- ◆ 複数のバナーをローテーションで表示
- ◆ 閲覧クリック状況の確認

◆ 各種広告コードへの対応:

Google AdSense 等 DX委員会として、協賛組織様方の事業のお力になれるように、新しいデジタル技術にも果敢にチャレンジして行きたいと考えています。こんなことがしてみたい、こんなことができないか? などお気軽にお問い合わせください。

広報委員会

東京岐阜県人会の行事や事業の情報をおいち早く提供し、会員同士の交流や、新規会員の入会につなげられるよう活動しています。

昨年は会報誌「ギフネット」82号(春夏号)・83号(秋冬号)を出しました。

1月13日には広報委員会を開催し、84号(春夏号)の内容を審議しました。

DE&I委員会

DE&Iは会員同士の刺激と交流の楽しい場を創出する委員会です。皆様のご意見やアイデアをお聞きしながら、有意義な時間を共有できるようにイベントを企画していきたいと思っています。

「大人の社会見学」をテーマに、グルメな時プランします。

フェローシップ委員会

フェローシップ委員会は、引き続き幅広い入会者の募集に努めています。最近の会員数は、2026年1月15日現在で個人会員463名(法人会員は35社)ですが、東京岐阜県人会の健全な発展のためには更なる会員の増強が重要です。フェローシップ委員会は、引き続き入会勧誘活動を機動的に行って参ります。

会員には、年2回の会報誌「ギフネット」の配布をはじめ、各種イベント(年次総会後の懇親会、講演会、勉強会、ゴルフコンペ、クリスマス会等)をご案内します。各種イベントを通じて交流関係を広げられるということが大きな魅力の一つです。年次総会後の懇親会では、岐阜県関連の国会議員・知事・市町村長その他の著名人・旧友との交流が行われ、岐阜県産の材料を使ったお料理や銘酒コーナーも好評です。東京岐阜県人会を通じて、会員の皆様の東京での日常生活に彩りを添えることができれば幸いです。

東京岐阜県人会の入会資格は、岐阜県出身者に限らず岐阜県の発展に関心のある個人及び法人も含まれます。入会手続の詳細は、東京岐阜県人会のホームページへ<https://apstu.org/tokyo/index.php>をご覧ください。



「岐阜県人世界大会」とは、「世界から岐阜へ、岐阜から世界へ」をテーマにした「ぎふ県人みんなで創り上げる」大会です。世界大会では、世界各国、日本全国からの参加者が数百～数千人規模(第1回岐阜県人世界大会参加数2,200人超)となり、誰もが参加できるイベントです。

開催日: 2026年11月14日(土)

開催場所: ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

《お問合せ先: gki@g-k-i.com》



久々に母校の同窓会で恩師や友人たちと旧交を温めてみてはいかがでしょう？ 同窓会から発展した趣味の会や文化イベントへの参加、母校を応援するスポーツ観戦などの機会もこれから増えていきそうです。これ

らをきっかけとして、長らくご無沙汰していた故郷へのきずなをぜひ再構築してみませんか。

次号は10月上旬発行となります。皆様の投稿をお待ちしております。(投稿先: gifukenjin-ky@poppy.ocn.ne.jp)

東京有斐会(斐太高校卒業生の会) ～白線流しのつどい～同窓の世代を結ぶ会～

日時 2026年6月20日(土) 15:30～18:00

場所 明治記念館 蓬莱の間

(港区元赤坂2-2-23 電話 03-3403-1171)

地下鉄青山1丁目駅より徒歩6分

JR信濃町駅より徒歩3分

会費 高46回(H6) 以前卒(50歳以上) 11,000円

高47回(H7)～高61回(H21) 卒(35歳以上) 7,000円

高62回(H22) 以降卒(34歳以下) 5,000円

学生は無料

【注意】ドレスコードは特に設けておりませんが、披露宴会場でもあり、同時刻に他の部屋で披露宴が開催されている可能性が高いので、ラフ過ぎないように配慮願います。

東京有斐会事務局連絡先(HP: <http://www.yuhikai.tokyo>)

東京飛騨会新春互礼会 —明治神宮初詣で—

令和8年1月24日土曜に恒例の東京飛騨会新春互礼会並びに明治神宮初詣でが開催されました。日本海側の北陸地方には線状降雪帯が居座り、東北から北海道は大雪でしたが、代々木神園は青空と暖かな日差しに恵まれ、大安吉日に70名の盛会となりました。

東京岐阜県人会からは高山市ご出身の林信秀会長はじめ有志14名のご参加と、高山市から高殿尚・岐阜県議会副議長と清水雅博・高山市副市長、岐阜県東京事務所の山田育康所長、在京高山市長公室の永田友和・東京事務所所長、飛騨市長代理として岐阜県東京事務所派遣の野道康弘様にもご臨席を賜りました。

来賓の高殿様からは、折しも衆議院選挙公示直前に参拝が叶った寿ぎと、日本橋三越本店で開催中の岐阜県商工労働部県産品流通支援課主催の『岐阜探訪一食と匠の共演』視察のご報告を戴き、林会長は二歳まで高山で過ごされ、父上の赴任に従い飛騨から大垣、岐阜へと移られた来歴ご紹介に重ね、濃飛に縁深い明治神宮での参拝を好機に、一層の飛騨からの県人会参加を呼びかけられました。

清水副市長はこの会ご参加の思い出を感慨深くご紹介され、飛騨市派遣の野道様は、4月開校が迫る飛騨初の大学、コ・イノベーション大学の紹介と、素粒子研究最前線の飛騨市が誇るカミオカンデがスーパーからハイパーへと飛躍を遂げ観測開始に向け、一般公開の気配が紹介され、山田所長には県知事三代に仕えた経験をご披露戴きました。

今回は、去年の理事会で新会長に選出され、6月の総会報告に預かりました小職には初の互礼会です。そこでこの会の歴史の一端に触れました。名簿の発行が大変難しい時代ですが、会に残る名簿の中から昭和51年(半世紀前)と平成元年(37年前)の2冊の役員一覧には、会場の皆様にもお馴染みのお名前(敬称略)として、会長の

金子一平(大蔵大臣)、相談役・顧問の荒垣秀雄(朝日新聞コラム『天声人語』執筆者)、加藤於菟丸(官僚、県知事、実業家、岐阜県学寮理事長)、評議員の早船ちよ(『キューボラのある町』著者)、常任幹事の井上秋夫(明治神宮・戦後復興棟梁)、幹事の中坪良一(弁護士)に並んで、この日もご参加下さった佐藤八千代様や和田弘子様のお名前も見えます。親族、先輩、知人など、幕末から続くというこの会の过客の一人として先客の名に感慨一入です。

さて、去年の邦画の話題

から、観客動員1300万人超えの『国宝』ですが、歌舞伎役者の人生を描いたこの作品の振付を高山市出身の舞踏家・谷口裕和様が担われ、高山でもカンヌ国際映画祭からの帰国報告をされました。高山市街中央を流れる宮川に架かる赤い欄干の中橋、その東の袂のこの街最古の料亭のひとつ「洲さき」の長男に生まれた谷口様は、幼少期より踊りに魅入られ、十代にして歌舞伎振付師・梅津貴昶^{たかあき}先生に入門し、今では高山市と東京を拠点に多くの弟子をご指導されているそうです。

最後に近未来です。この日は高山市出身で、ミラノ・コルティナ冬季五輪、女子スキークロス日本代表の新井真季子様の御姉様もご参加でした。世界へと頼もしい女性活躍。今回もまた、ふるさとに感謝です。

(東京岐阜県人会 理事・東京飛騨会 会長 玉腰 徹)



直会殿拝礼(撮影:明治神宮)



本殿参拝(撮影:明治神宮)



東京飛騨会新春互礼会
(乾杯:江馬潤一郎・明治神宮権宮司)

東京岐阜県人会の 発展をお祈りいたします。

東京岐阜県人会 名誉会長
一般社団法人吉村やすのり生命の環境研究所 代表理事

慶應義塾大学
名誉教授
吉村 泰典

〒021-0009
東京都千代田区平河町一五一一五
VORT平河町九〇二
TEL 〇三(三五一二) 五六七八
FAX 〇三(三五一一) 五六七九

東京岐阜県人会 副会長
一般社団法人運転従事者脳MRI健診支援機構 代表理事

水町 重範

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷一〇一〇一六
TEL 〇三(六二七四) 八五五五

東京岐阜県人会 会長
一般社団法人日本経済調査協議会 理事長
元みずほ銀行 取締役頭取

林 信秀

東京岐阜県人会 副会長
ソフトバンク株式会社 AX事業本部 顧問
一般社団法人日本ロボティクスインテグレーション協会
アドバイザー

羅 本礼二

東京岐阜県人会 副会長
水町メディカルグループ代表・総院長
内科認定医

水町 重範

水町クリニック
水町保険診療所
水町エム・アールクリニック千駄ヶ谷
〒163-0703
東京都新宿区西新宿一七七新宿第生命ビルディング3F
TEL 〇三(三三四八) 二一八一(代)

東京岐阜県人会 幹事長
公認会計士・税理士

八木 茂樹

下呂市出身

東京岐阜県人会 名誉顧問
松久グループ

代表
神谷 一雄

〒051-0021
東京都港区東新橋二一八一
パラスツォアステック九階
TEL 〇三(三四三二) 四七九三
FAX 〇三(三四三三) 〇一三五

株式会社UACJ

取締役会長
石原 美幸

〒081-0073
東京都港区三田三一五一九
住友不動産東京三田ガーデンタワー
TEL 〇三(六二〇二) 二六〇〇

明治神宮 権宮司
明治記念館 館長

江馬 潤一郎

明治記念館
〒107-8507
東京都港区元赤坂二二二二三
TEL 〇三(三三六四) 七九九〇

貝印グループ

代表取締役
会長
遠藤 宏治

〒011-8586
東京都千代田区岩本町三一九一五
K.A.I.ビル
TEL 〇三(三八六二) 六四一一
FAX 〇三(三八六二) 〇二〇五

在京(首都圏)岐阜高校同窓会

会長
尾関 良平

東京岐阜県人会 総務企画委員
多治見北高同窓会 東京支部 理事

小原 久

御嵩町伏見出身

一般社団法人グローバルメディアネットワーク

理事長
岸田 哲哉

【本部事務局】〒501-0003
岐阜市三田洞東一丁目二十番三号
TEL 〇五八(三三七) 六三三三
FAX 〇五八(三三七) 七五〇九
【東京支局】東京都世田谷区深沢六一八二〇三〇二
<https://gifu42.net>

美濃紙業株式会社

代表取締役
会長

近藤 勝

〒一〇〇—〇〇二五
東京都足立区千住東二一三—三
TEL〇三(三八八二)四九二二
FAX〇三(三八八八)六四三九

金沢工業大学虎ノ門大学院

教授
棚橋 祐治

総合解体業
株式会社 八起グループ

代表取締役
佐々木 宏幸

〒一三四—〇〇八三
東京都江戸川区中葛西一七—六—三〇
TEL・FAX〇三(六八〇八)八三七六
携帯電話〇八〇(五〇五五)六四一七

平和不動産株式会社

取締役
代表執行役専務
富田 朱彦

〒一〇三—八二二二
東京都中央区日本橋兜町一—一〇
TEL〇三(三六六二)七七七一

株式会社 岐阜フットボールクラブ

取締役会長
宮田 博之

日電精密工業株式会社

代表取締役社長
吉田 圭二

〒五〇三—八五五七
岐阜県大垣市三塚町三三六—一
TEL〇五八四(八二)六三二二
FAX〇五八四(八二)六三四〇

聖マリアンナ医科大学 呼吸器外科

主任教授
佐治 久

〒二一六—八五一—
神奈川県川崎市宮前区菅生一—六—一
TEL〇四四(九七七)八一—一
FAX〇四四(九七七)五七九二

株式会社 江ノ島マリンコーポレーション

代表取締役
社長
堀 一久

〒一〇〇—〇〇〇六
東京都千代田区有楽町一—七—一
有楽町電気ビル南館九階
TEL〇三(三一一二)一一〇二
FAX〇三(三一一二)一一〇二

株式会社 HOWA

代表取締役社長
高田 智行

本社
〒四八六—〇九六九
愛知県春日井市味美白山町二—一〇—四
TEL〇五八八(三三四)八三三二
〒二四三—〇〇一八
神奈川県厚木市中町四—一六—一八
YAGIビル七階
TEL〇四六(二二五)八六〇一

東京地下鉄株式会社

顧問
本田 勝

竹文化振興協会

理事・岐阜支部長

亀山 光昭

〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-1-12
TEL・FAX 03-3793-6716

編集後記

この冬の話題はやはりミラノ・
コルティナ冬季五輪。岐阜県出身者
も多数参加、大活躍した。金銅の
メダルを獲得した村瀬心柊選手・
銀銅メダリストの堀島行真選手と
松浦透磨選手の3人が同じ岐阜第一
高校出身、新井真季子選手は高山
西高出身、桐山菜々穂選手は岐阜
女高出身で、岐阜の山河を眺めな
がら日々練習に励んだ結果に、地元
も大いに盛り上がり、勇気づけられ
たに違いない。

コルティナダンベツツオといえ
ば、昭和世代は反射的に今から70年
前、日本人で初めてアルペン競技で
メダリストとなった猪谷千春氏の名
前を思い出す。戦後の日本人に勇気
とプライドを持たせてくれた快挙
だった。たまたま私の幼稚園の同級
生の義兄にあたるので、1980年
代に一度お目にかかったことがある。
老年なってもハンサムでオーラ
があった。父君の猪谷六合雄氏是有
名なスキー界の草分け的人物で、戦
前私の父が千島と一緒に一本ストツ
クでスキーをした際、国後島生まれ
の幼児の千春氏もいた。「千島の春
に生まれたので千春と名付けた」と
のこと。

数多くのドラマを生んだ必死の闘
いのなか、多くの選手が競技や五輪
参加を「精一杯楽しみたい」と述べ
ていたのが印象的。好きなことをと
ことん追求しての結果が、この五輪
の晴れ舞台なのだ。

広報委員長 荒垣さやか

〈順不同〉



OKB 荘 管理人
おけびさん

すべての物語に、
しあわせを。

CM公開中!!



OKB 大垣共立銀行

東京支店 TEL 03-5159-7000
東京都中央区京橋一丁目12番5号(京橋YSビル2階)



垂井をザワつかせる
わくわくさせる

3人制プロバスケットボールチーム 垂井レイザーバックス

中津川市出身/垂井町在住
西尾 大和選手

フロリダ出身/垂井町在住
ヴォーン選手

中津川市出身/岐阜市在住
加藤 力也選手

LINE公式アカウント
お友達募集中



**スポンサー募集！！
共に戦ってください！！**

県内初の3人制プロバスケットボールチームとして
垂井町出身のアナウンサー南隼人が2023年夏に発足。
2024年からプロリーグに参戦。
プロリーグ参戦3年目となる2026年はラウンド優勝を狙う。
チームスローガンは『TARUI VIBES』。



TARUI VIBES

3人制プロバスケットボールリーグ
EX3EXE
PREMIER

試合日程

ROUND.1	5月16日(土) 東京都千代田区
ROUND.2	5月31日(日) 兵庫県姫路市
ROUND.3	6月13日(土) 14日(日) 山口県宇部市
ROUND.4	6月20日(土) 愛知県名古屋
ROUND.5	7月18日(日) 青森県八戸市
ROUND.6	7月25日(土) 26日(日) 青森県八戸市
ROUND.7	8月16日(日) 埼玉県印西市
ROUND.8	9月12日(土) 岡山県岡山市